

その他の事業運営上の留意事項

サービス利用者に関すること

- ・ 高齢者の健康
 - ノロウイルス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 133
 - インフルエンザ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 134
 - 腸管出血性大腸菌(0157等)感染症・・・・・・・・・・・・ 135
 - 結核・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 136
 - HIV/エイズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 137
 - レジオネラ症・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 138
 - 熱中症・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 139～140
 - 暑さ対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 141
- ・ 高齢者虐待・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 142～143
- ・ 地域支援スーパーバイズ事業(権利擁護相談)・・・・・・・・ 144
- ・ ヤングケアラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 145

事業所の労働環境に関すること

- ・ 専門家による無料相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 146
- ・ 無料講師派遣・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 147

事業所の運営に関すること

- ・ 介護相談員派遣等事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 148
- ・ 大阪府福祉サービス第三者評価・・・・・・・・・・・・・・ 149
- ・ 大阪府障がい者差別解消条例の改正・・・・・・・・・・・・ 150

サービス利用者向け相談事業

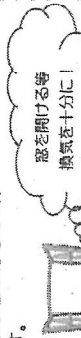
- ・ 福祉サービス苦情解決制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 151～152

ノロウイルスの感染を広げないために！！

～処理の手順を守ろう！～

ノロウイルスを広げないための3つのポイント！

- ① 汚物はすぐに拭き取る・乾燥させない！
ノロウイルスは乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあるので、嘔吐物や糞便は速やかに処理することが感染防止に重要です。
- ② きれいに拭き取ってから消毒する！
ノロウイルスには家庭用塩素系漂白剤を水で薄めた消毒液が有効です。
★消毒液は、汚物が残っている状態で使用すると、ウイルスに対する消毒効果が低下するので、消毒前に必ず汚物をきれいに取り除くことが重要です。
- ③ しっかり手洗いをする！
ノロウイルスを広げないためには、しっかり手洗いをし、手からノロウイルスを落とすことが大切です。
＜タイミミング＞
嘔吐物等の処理後、拭き取りの掃除後、調理の前、食事前、トイレの後、オムツ交換の後 等



適切な処理の手順	
吐いたとき	衣類等が糞便や嘔吐物で汚れたとき
① ビニール手袋・マスク・ガウン・靴カバー等を着用する。	① ペーパータオル・布等で覆うなど、付着した汚物中のウイルスが飛び散らないようにしながら汚物を取り除く。
② ペーパータオル・布等で嘔吐物を覆い、外側から内側へ向けて、拭き取り面を折り込みながら静かに拭き取る。	② 汚物を取り除いたあと、洗剤を入れた水の中で、静かにもみ洗いをする。
③ 床等に、汚物が残らないように、しっかり拭き取る。	③ 50倍に薄めた家庭用塩素系漂白剤に10分程度つけこむ。(素材に注意) ★家庭用塩素系漂白剤につけこむ代わりに、85℃・1分以上の熱湯洗濯を行うこともウイルスの消毒効果が異なります。
④ 拭き取りに使用したペーパータオル・布等は、ただちにゴミ袋に入れ、密閉し廃棄する。 *可能であれば、50倍に薄めた家庭用塩素系漂白剤を入れてから、密閉し廃棄する。	④ 他の衣類とは分けて洗う。 *もみ洗いした場所は、250倍に薄めた家庭用塩素系漂白剤で消毒し、洗剤を使って掃除をする。
⑤ 汚物を拭き取った後の床等は、50倍に薄めた家庭用塩素系漂白剤で覆すように拭く。 *ペーパータオル・布等はなるべく色のついでないものを使用する。	⑥ 10分後に水拭きする。

家庭用塩素系漂白剤 希釈方法早見表

一般的に市販されている家庭用塩素系漂白剤の塩素濃度は、約5%です。塩素濃度約5%のものを利用した場合の方法を以下に示します。(家庭用塩素系漂白剤のキャップ1杯が、約25ccの場合です。)

使用目的	濃度	希釈液の作り方
<ul style="list-style-type: none"> 汚物を取り除いたあと、床等(浸すように拭き、10分後に水拭きする) 汚物を取り除いたあと、衣類(10分程度つけこむ) 汚物の拭き取りに使用したペーパータオル・布等の廃棄(ゴミ袋の中で薪棄物を袋状ように入れ、密閉し廃棄する。) 	約50倍 ※濃度 約1000ppm	<ul style="list-style-type: none"> ①水通水 2,500cc (500cc ペットボトル5本分) ②家庭用塩素系漂白剤 50cc
<ul style="list-style-type: none"> もみ洗いをしたあと、洗い場所の消毒(消毒後、洗剤で掃除すること) トイレの取っ手・トイレドアのノブ・トイレの床などの拭き取り(拭き取り部位が金属の場合は、10分後に水拭き) 	約250倍 ※濃度 約200ppm	<ul style="list-style-type: none"> ①水通水 2,500cc (500cc ペットボトル5本分) ②家庭用塩素系漂白剤 10cc

- 作り置きは効果が低下します。なるべく使用直前に作りましょう。
- 作った消毒液を一時的に保管する場合は、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきり明記して日光の当たらない場所で保管しましょう。
- 家庭用塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)は未開封でも徐々に劣化していきますので、なるべく新しいものを使用しましょう。

ノロウイルスによる 感染性胃腸炎について

感染経路

- ◆ 患者の糞便や嘔吐物からの二次感染
- ◆ 感染した人が調理などをし汚染された食品
- ◆ ウイルスの蓄積した加熱不十分な二枚貝など

潜伏期間

- ◆ 通常1～2日

症状

- ◆ 下痢・嘔吐・吐き気・腹痛などで、通常1～3日症状が続いた後、回復。

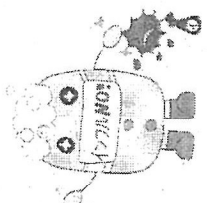
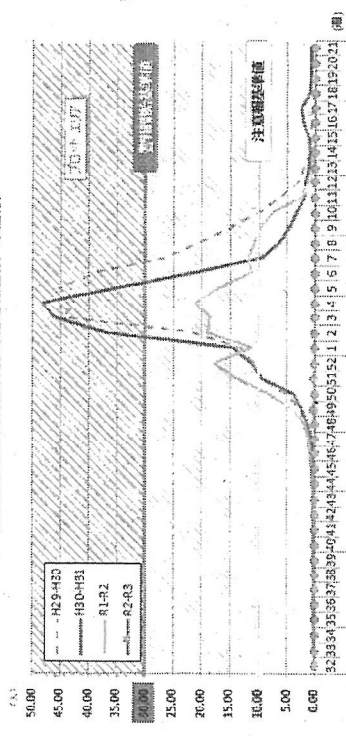
流行元：大阪府健康医療部保健医療感染症対策企画課
大阪府立衛生保健研究所

冬期に流行するインフルエンザ

インフルエンザは、11月から3月にかけて流行します。インフルエンザにかかっている人のくしゃみや咳で出るしぶきを吸い込むことによる「飛沫感染」や、しぶき等がついたドアノブやつり革などを手で触り、その手で口や鼻に触れることによる「接触感染」によって感染します。その感染力は非常に強く、大阪府では、令和元年に約77万人の方がインフルエンザにかかっています。感染すると38度以上の急な高熱を発症し、頭痛や関節痛、筋肉痛などの症状が出ます。特に高齢者や心臓や腎臓に持病をお持ちの方は、重症化しやすいと言われています。

インフルエンザの流行状況

(大阪府における定点あたりの患者報告数*の推移)



大阪府インフルエンザ対策
 マスコットキャラクター
 マワテくん

【インフルエンザに感染しないために】

- ▶ 日頃からの予防対策をしておくことが重要です。
- ▶ ごまめに手洗いをを行う
- ▶ 日頃から体の抵抗力を高めておく
- ▶ 咳、くしゃみがあるときは、「咳エチケット」を心がける
- ▶ 流行時には、高齢者や基礎疾患のある方、妊婦、体調の悪い方は、人混みへの外出を控える

【予防接種も有効な対策】

- ▶ インフルエンザワクチンは、感染後に発症する可能性を低くさせる効果*があります。特に高齢者や心臓や腎臓に持病をお持ちの方は、重症化を防ぐのに有効です。
- ※効果には個人差があり、副反応がでることもありますので、予防接種の際には医師にご相談ください。
- ▶ 高齢者(原則65歳以上)は、定期的予防接種の対象者として予防接種を受けることができます。詳しくは、お住まいの市町村にお問い合わせください。

【インフルエンザにかかったときは】

- ▶ 咳、くしゃみなどの症状があるときは、周りの方へうつさないために、マスクを着用し、早めにかかりつけ医や最寄りの内科・小児科を受診する。
- ▶ 家で安静にして、休養をとる。特に睡眠を十分に取る。
- ▶ 水分(お茶、ジュース、スープなど)を十分に補給する。
- ▶ 部屋の湿度を50%から60%程度に保つ。
- ▶ 熱が下がってから2日(幼児は3日)目まで、または症状が始まった日から8日目までは外出しないように心がける。

【事業者の皆様へ】

- ▶ 職場でまん延しないよう、日頃から室内のこまめな換気や湿度管理(50%から60%)の徹底、消毒用アルコールを常備するなどインフルエンザ対策をお願いします。
- ▶ 従業員がインフルエンザにかかってしまった場合、無理をして出勤する必要のないように、配慮をお願いします。

【新型インフルエンザについて】

- ▶ 「新型インフルエンザ」とは、これまで人が感染したことがない、新しい型のインフルエンザのことをいいます。誰も免疫を持っていないため、ひとたび発生すると多くの人が感染し、世界的に大流行することが心配されています。
- ▶ 《日頃の備え》
 - ▶ マスクや消毒用アルコールなどのほか、約2週間分の食料品や日用品を準備しましょう。(新型インフルエンザが海外で発生して流行すると、外国から色々な物が輸入できなくなりますが、さらに、国内で流行すると、外に出かけることができなくなったりします。)
 - ▶ テレビやラジオなどから正しい情報を集め、いつ起こっても対応できるようにしましょう。
- ▶ 《発生したときのお願い》
 - ▶ 決められた医療機関での受診をお願いします。(府では、発生して間もない頃には、感染が広がらないように診療を行なう医療機関を限定します。)
 - ▶ 不要な外出を控える、食料品や日用品の買い占めをしないようお願いいたします。



【参考】

- ▶ インフルエンザを予防しよう(大阪府ホームページ)
- ▶ インフルエンザ予防のために〜手洗い・マスクのススメ(政府インターネットテレビ)
- ▶ 大阪府新型インフルエンザ等対策(大阪府ホームページ)
- ▶ 大阪府 新型インフルエンザ 対策



腸管出血性大腸菌（O157等） 感染症にご注意！

感染経路

腸管出血性大腸菌（O157等）は、通常牛等の腸内に生息しています。そのため腸の内容物で汚染された食品を介して、口から体内に入ることによって感染します。

- ★ 食べ物（牛肉やレバーなどは十分に加熱しましょう。）
- ★ 生肉を触れた箸（焼く箸と食べる箸を使い分けましょう。）
- ★ 患者・保菌者の糞便で汚染されたものや水 など

腸管出血性大腸菌はわずか数十個程度の菌が体の中に入っただけでも発症することがあるため、患者・保菌者の糞便などから二次感染することがあります。

腸管出血性大腸菌（O157等）感染症の潜伏期間と症状



- ★ 下痢・腹痛・発熱などの症状がある時は、早めに受診しましょう。

潜伏期間：2～14日（平均3～5日）
 症状：下痢（軽いものから水様便や血便）・腹痛・発熱など

- ※ 乳幼児や高齢者では重症になる場合があります。
- ※ 発症後1～2週間は、溶血性尿毒症症候群（HUS）を起こすことがありますので注意が必要です。

※ HUS：ペロ毒素により腎臓の細胞が傷害されて発症する、溶血性貧血、血小板減少、急性腎不全の3つを特徴とする状態。主な症状：尿が出にくく・出血を起し易い・頭痛など重症になると、けいれん・昏睡を起し、生命の危険がある。

二次感染防止のために

- ★ 普段から調理前や食事前、トイレの後は石けんをよく泡立てて手指から手首までを充分洗いましょう。
- ★ タオルの共用使用はやめましょう。
- ★ 糞便を処理する時は、使い捨てビニール手袋を使いましょう。処理がすんだあとは、手袋をはずし石鹸で手洗いしましょう。（また、乳幼児や高齢者でオムツの交換時の汚染に充分気をつけてください。）
- ★ 下痢などで体調の悪いときには、プールの利用はやめましょう。簡易ビニールプール等を利用する場合は、頻りに水を交換しましょう。

《注意事項》

- ※ トイレについて：患者・保菌者が排便した後触れた部分（ドアや水道のノブなど）は、逆性せっけんや消毒用アルコールで消毒してください。（消毒薬は薬局で手に入ります。）
- ※ 衣類などについて：患者・保菌者の糞便のついた衣類などは、熱湯や100倍に薄めた家庭用塩素系漂白剤に30分浸したあと、他の衣類とは別に洗濯し、日光で十分に乾燥させましょう。（素材に注意）
- ※ 入浴・お風呂について：患者・保菌者がお風呂を使用する場合は、下痢があるときは、シャワーまたはかけ場にしましょう。浴槽につかる時は最後にし、混浴は避けましょう。浴槽の水は毎日替え、浴壺、浴槽はよく洗い流しましょう。
- ※ 業務について：患者・保菌者が飲食物に直接接触する業務に従事することは、法律で制限されています。

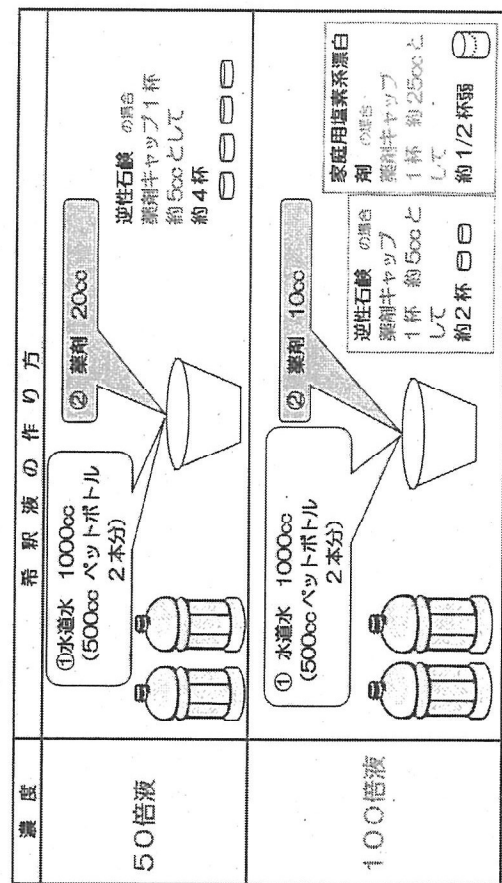
消毒方法について

（消毒薬については、詳細までご相談ください）

消毒するもの	使用薬剤など	めやす
手指	逆性石鹼液 （塩化ベンザルニコウム液 10%） 速乾性擦式手指消毒剤	石鹸で手洗い後、100倍液（下記参照）に浸して洗浄する
	消毒用エタノール（70%） 次亜塩素酸ナトリウム （台所用塩素系漂白剤など） 熱湯消毒	原液30ccを手のひらにとり、乾燥するまで（約1分間）手に擦りこんで使う
トイレの取っ手 ドアのノブ	消毒用エタノール（70%）	100倍液（下記参照）に30分間浸し、水洗いする
	逆性石鹼液 （塩化ベンザルニコウム液 10%）	80℃、5分以上（ただし、ふきんは100℃で5分以上煮沸）
衣類の消毒	逆性石鹼液 （塩化ベンザルニコウム液 10%） 次亜塩素酸ナトリウム （家庭用塩素系漂白剤など） 熱湯消毒	濃度はそのまま使用し薬液を含ませた紙タオル等で拭くが噴霧する
	逆性石鹼液 （塩化ベンザルニコウム液 10%）	50倍液（下記参照）を含ませた紙タオル等で拭く
風呂桶	逆性石鹼液 （塩化ベンザルニコウム液 10%） 熱湯消毒	100倍液（下記参照）に30分間つけた後、洗濯する
	逆性石鹼液 （塩化ベンザルニコウム液 10%） 熱湯消毒	熱水洗濯機（80℃10分間）処理し、洗浄後乾燥させる
		100倍液（下記参照）を含ませた紙タオル等で拭く
		熱湯で洗い流す

消毒液のつくり方

※ おむつ交換時と便の処理を行なう時は、使い捨てビニール手袋を使用する。
 ※ 次亜塩素酸ナトリウムは、金属腐食性があるので、消毒後、水拭きする。



大阪府

（お問い合わせは最寄りの保健所へ）

高齢者の結核を 早期発見するには？

サービス利用開始時の健康チェック

- ・2週間以上続く呼吸器症状（咳、痰など）や胸部X線写真に異常陰影がある時には、かかりつけ医や施設の嘱託医に喀痰検査等の必要性を確認しましょう。
- ・健康管理のための情報として、結核等の既往歴や治療中の病気を確認しましょう。

定期健康診断時の健康チェック

- ・結核の早期発見のためにも、定期健康診断を活用しましょう。
- ・「高齢者は結核のハイリスク者」であり、健診が義務ではない施設も、定期的な健康チェックが大切です。

日常的な健康観察

- ・高齢者結核では咳や痰がでない割合も高く継続する体調不良や免疫低下からむ症など、日常の健康観察がとても大切です。

- なんとなく元気が活気がない
- 発熱、食欲不振、体重減少、倦怠感、尿路感染（免疫低下）
- 咳、痰、胸痛、呼吸のしづらさ

- ・肺炎疑いでも、できれば抗生剤を使用する前に、喀痰検査の実施を嘱託医に相談しましょう。また、抗生剤の使用状況を記録に残しておきましょう。

高齢者介護に関わるあなたと あなたの大切な人の “健康を守る”ために

職員の定期健康診断

- ・少なくとも年に1回は胸部X線検査を受けましょう。精密検査の通知が来たら、自覚症状がなくても必ず受診しましょう。
- ・健診結果は、今後の健康管理に大切な情報です。結果を保管しておきましょう。

咳エチケット

- ・咳が出る時は、サージカルマスクを着用しましょう。

まずは自分の身体をいたわりましょう

- ・身体の免疫力を維持し、風邪等の症状が続く時は、早めの受診を心がけましょう。
- ・免疫が低下する疾患（糖尿病、腎疾患、HIV等）がある時は、確実に治療を継続しましょう。
- ・結核について勉強する機会を持ちましょう。

結核に関する心配や不安がある時は
保健所に相談しましょう。

健康診断を行った場合には報告しましょう
職員や施設入所されている方の健康
診断を実施した場合には、あなたの地
域を管轄する保健所に報告が必要です。
<詳細>

<http://www.pref.osaka.lg.jp/iryu/osaakakansensho/kekaku02.html>

この資料は平成28年度国立研究開発法人日本医療研究開発機構委託研究開発費「地域における結核対策に関する研究」により作成されました。

高齢者介護に関わる人の ための“結核”基礎知識

現在1年間に約1万3千人の結核患者が新たに診断されており、その約7割は65歳以上です。

ある日、ある高齢者施設で…

〇〇さん、結核疑いだそうです!!



こんな時
どうしたらいいでしょう？

結核とは

結核とは、結核菌によっておこる感染症です。

感染のしくみ（空気感染）

- ・主に肺結核患者の咳などのしぶきと共に排出される菌を吸い込むことで感染します。

感染とは

- ・結核菌が身体の中に入り、それに対する身体の反応が起こっている状態です。

発病とは

- ・菌が増殖し、何らかの身体の変化や症状が出てくる状態です。
- ・結核の発病率は、感染者の1～2割です。
- ・発病は、身体に入った菌の量や強さと、感染者の免疫などが関係します。

<免疫の維持> バランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠、禁煙、免疫が下がる疾患（糖尿病、腎疾患等）の治療と管理が大切です。

症状

- 咳、痰、微熱、胸痛、体重減少等

特徴

- ・「よくなったり、悪くなったり」しつつ病状が進行し、排菌するようになります。
- ・排菌をしていない感染状態や発病の初期には、人にうつすことはありません。

治療と施設での服薬支援

- ・原則として、6か月以上の定められた期間、複数の薬を内服します。確実な内服のため周囲の方の支援が重要となります。

利用者が結核(疑い)と 診断されたら

マスクの着用と個室対応

結核(疑い)の方 入院や検査結果を施設で待つ間は、サージカルマスクを着用してもらい、個室対応でドアは閉めましょう。

職員や家族等 個室へ入る時はN95マスクを着用し、乳児等の面会は禁止します。

車で搬送する時

- ・結核(疑い)の方は、サージカルマスクを、同乗者はN95マスクを着用します。
- ・窓を開けて換気をしましょう。

部屋の清掃など

- ・部屋の窓を開けて換気を十分行いましょう。
- ・薬剤等による消毒は不要です。通常の掃除や洗濯、食器洗いを行えば大丈夫です。

<N95マスク> 結核の感染防止のため職員や家族がつけるマスクです。すぐ、使えるように常備し、着脱訓練をしておきましょう。



N95マスクの例 サージカルマスクの例

～結核の発病は誰のせいでもない～

- ・突然、結核(疑い)と言われ、動揺する方も多いため、周囲のサポートが不可欠です。

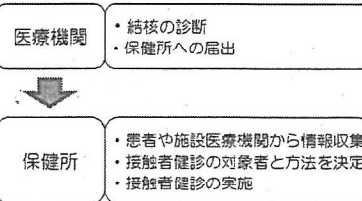
接触者健診について

目的

- ・患者からの感染や発病の有無などを調べ、結核の感染拡大を防止します。

基本的な流れ

- ・保健所は届出により、患者の病状や生活、患者と接した方の健康状態等を確認して、必要な対象者に、無料で健診を行います。



主な検査

- ・原則として、結核の“感染”を血液検査で、“発病”を胸部X線検査で調べます。

実施時期など

- ・施設の定期健診状況なども検討し、適切な時期に行います。
- ・必要により、保健所と施設が協力して、健診の前に説明会を行うこともあります。
- ・結核に感染した後、検査で感染がわかるようになるまで、3か月ほどかかります。
- ・あわてて検査をすると正確な結果が得られないこともありますので、保健所と連絡を取りましょう。

社会福祉施設等で働くみなさまへ

H I V / エイズの正しい知識 ～知ることから始めよう～



標準予防策によりH I V感染は予防できます。



性行為以外の日常生活で感染することはありません。

継続して抗HIV薬を服用していれば、ウィルス量が下がり、性行為による感染も防げます。



今ではH I V感染症は慢性疾患の1つです。

抗H I V薬が使われるようになってから、エイズによる死亡率は劇的に減少し、H I V感染症は、慢性疾患の1つとして考えられるようになりました。

今、社会福祉施設等に期待されること

2020年末、大阪府のH I V陽性者の累積報告数は3,804人（確定値）となり、年々増加しています。また、高齢化や合併症などによって自立困難となり、支援を求めるH I V陽性者が増えています。そのため、H I V陽性者の受け入れ先として、社会福祉施設等への期待が高まっています。

支援が必要な人に対して生活を支援し、療養の場を提供することは社会福祉施設等の役割です。他の慢性疾患患者と同様に、H I V陽性者の方は慢性疾患を抱えて生活をしている人たちです。一人ひとりがH I V / エイズに対する理解を深め、支援が必要なH I V陽性者の方を迎え入れていきましょう。

《参照》

社会福祉施設で働くみなさんへ H I V / エイズの正しい知識～知ることから始めよう～
平成23年12月発行、平成31年2月改訂

https://www.haart-support.jp/pdf/h31_knowledge_hiv_aids.pdf

<企画・発行>

平成23年度 厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業

「H I V感染症及びその合併症の課題を克服する研究」研究代表者 白阪琢磨
分担研究「長期療養者の受入における福祉施設の課題と対策に関する研究」

研究分担者 山内哲也

<協力>

社会福祉法人武蔵野会

調べてみる
なう



問合せ先

大阪府健康医療部保健医療室感染症対策課感染症・検査グループ
電話 06-6941-0351 (内線5306)

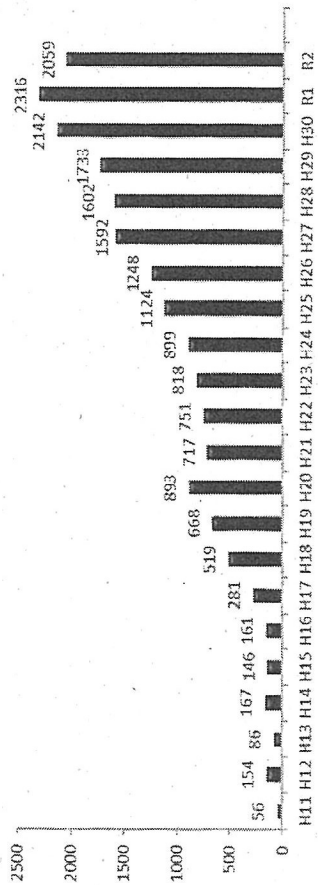
入浴設備の適正な維持管理により レジオネラ症発生を予防しましょう

【レジオネラ症とは】

レジオネラ症はレジオネラ属菌による感染症の一つで、幼児やお年寄り、あるいは他の病気などにより身体の抵抗力が低下している人に発病のおそれ強いと言われています。
レジオネラ属菌に汚染された細かい水滴（エアロゾル）等を、気道から吸い込むことによって感染し、発病します。

主な症状は肺炎（レジオネラ肺炎）で、菌に感染してから2～10日（平均4～5日）後に、高熱、咳、タン、頭痛、胸痛、筋肉痛、悪寒などの症状が出て、まれに重症になることがあります。死亡例も報告されています。人から人への感染はありません。近年、レジオネラ症患者報告者数は、増加傾向にあります。

レジオネラ症患者報告者数(全国)



レジオネラ属菌は、入浴設備の配管内部等で増殖することが知られています。入浴設備の適正な維持管理により菌の増殖を防止し、レジオネラ症の発生予防に努めてください。

大阪府では、平成20年4月より、「社会福祉施設等の入浴設備におけるレジオネラ症発生防止対策マニュアル」を定め、指導・助言を行っています。

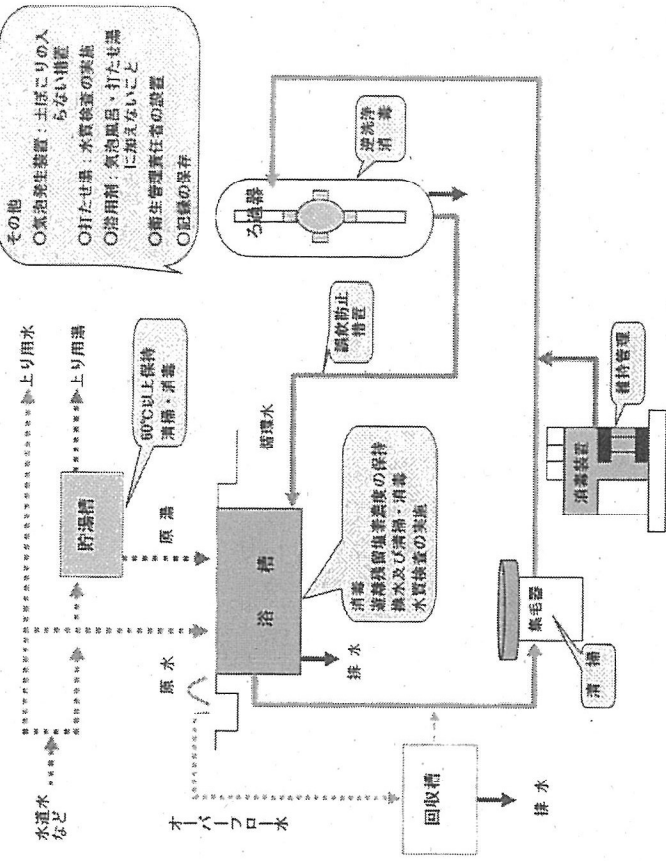
施設の設置者・管理者の方は、引き続き入浴設備について次の点に注意して適正な管理をお願いします。

【入浴設備の維持管理ポイント】

- 浴槽水は、塩素系薬剤を用いて消毒し、遊離残留塩素濃度で常に0.4mg/L以上を保ちましょう。
- 連日使用している浴槽水は、1週間に1回以上入れ換え、浴槽を清掃・消毒しましょう。
- ろ過器は、1週間に1回以上逆洗浄等により清掃しましょう。
- 貯湯槽内の湯の温度は60度以上に保ち、槽内を定期的に清掃・消毒しましょう。

循環式浴槽の実例参考図

【循環式浴槽における主なレジオネラ症発生防止対策措置】



【詳しくは】

「社会福祉施設等の入浴設備におけるレジオネラ症発生防止対策マニュアル」を参考にしてください。マニュアルは、下記の大阪府環境衛生課のホームページから入手できます。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kankyoisisei/rejionera/index.html>

また、「大阪府 レジオネラ」で検索できます。

マニュアルの疑問点等は、最寄りの府保健所または環境衛生課生活衛生グループ(06-6944-9910)にお問い合わせください。

【水質検査の実施と報告】

浴槽水について、1年に1回以上、レジオネラ属菌などの水質検査を実施し、その結果を報告してください。

報告は2ヶ所所に行ってください
(FAXで結構です)

当該施設所在地を所管する介護事業者担当部署
(大阪府福祉部介護事業者課又は市町村担当部署)

最寄りの大阪府保健所衛生課
(大阪市、堺市、豊中市、吹田市、高槻市、枚方市、八尾市、寝屋川市、東大阪市を除く)

熱中症にご注意ください

1. 熱中症とは？

<熱中症の症状>

- 初期症状として、めまいや立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のけいれんや痛み(こむらえり)が現れます。また、症状が進むと、吐き気や嘔吐、力が入らないなどの症状が現れます。
- さらに重症になると、意識障害や全身のけいれん(ひきつけ)を起したり、体温が著しく上昇し、最悪の場合は死亡する可能性もあります。

<熱中症の原因>

- 体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調節機能が破たんするなどして発症します。
- 高温、多湿、風が弱い、輻射源(熱を発生するもの)があるなどの環境では、体から熱が逃げにくく、汗をかきにくくなるため、熱中症が発生しやすくなります。

熱中症の病態と重症度分類

分類	症 状	症状から見た診断	重症度
I 度	めまい・失神 「立ちくらみ」という状態で、脳への血流が瞬間的に不十分になったことを示し、失神と呼ぶこともあります。 筋肉痛・筋肉の痙攣 筋肉の「こむら返り」のことで、その部分の痛みを伴います。発汗に伴う塩分(ナトリウム等)の欠乏により生じます。 手足のしびれ、気分の不快	熱失神 熱けいれん	
II 度	頭痛・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感 体がくたたりする、力が入らない等があり、「いつもと様子が違う」程度のごく軽い意識障害を認めることがあります。	熱疲労	
III 度	II度の症状に加え、意識障害・けいれん・手足の運動障害 呼びかけや刺激への反応が弱く、体にガクガクとひきつけがある(全身のけいれん)、真直ぐ歩けない、歩けない等。 高体温 体に触ると熱いという特徴です。 肝機能異常、腎機能障害、血液凝固障害 これらは、重要臓器での採血により判明します。	熱射病	

(「熱中症環境保健マニュアル 2018」より)

2. 高齢者と熱中症について

！高齢者は特に注意が必要です

- 体内の水分量が少くない上、老廃物を排出する際にたくさん尿を必要とするため、水分が不足しがちです。
 - 加齢により、暑さや喉の渇きに対する感覚が鈍くなります。
 - 暑さに対する体温の調節機能が低下しています。
- <熱中症の発生状況>
- 熱中症により救急搬送される約半数が、死亡総数の約8割が65歳以上の高齢者です。
 - 熱中症は、日中の炎天下だけでなく、室内や夜にも多く発生しています。
 - 室内でも多くの方が熱中症により亡くなっています。

<高齢者の熱中症予防のポイント>

- エアコン、扇風機を活用しましょう
- 室内の室温を計測しましょう
- こまめに水分補給しましょう
- ※高齢になると暑さやのどの渇きを感じにくくなります。のどが渇いていなくてもこまめに水分補給しましょう。
- シャワーやタオルで体を冷やしましょう
- 緊急時、困った時の連絡先を確認しておきましょう

☆周囲の方からも積極的な声かけをお願いします！

3. 新しい生活様式における熱中症予防行動について

新型コロナウイルス感染症予防に伴い、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いや「3密(密集、密接、密閉)」を避けるなどの「新しい生活様式」が求められており、それを踏まえた、熱中症予防行動が重要です。

▼マスクの着脱について ※マスク着用により熱中症のリスクが高まります

- 気温、湿度の高い中でマスク着用は要注意
- 屋外で人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合には、マスクをはずす
- マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避けましょう。
- 周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩しましょう。

▼暑さに備えた体作りをしましょう

- 暑くなり始めの時期から適度に運動を
- 水分補給は忘れず、無理のない範囲で
- 「やや暑い環境」で「やややきつい」と感じる強度で毎日 30 分程度

▼こまめに水分補給をしましょう

- のどが渇く前に水分補給
- 1日あたり1.2リットルを目安に
- 大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

▼暑さを避けましょう

- エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- 感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- 暑い日や時間帯は無理をしない
- 涼しい服装にする
- 急に暑くなった日等は特に注意する

▼日頃から健康管理をしましょう

- 日頃から体温測定、健康チェック
- 体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養

熱中症を疑った時には、放置すれば死に直結する緊急事態であることをまず認識しなければなりません。
重症の場合、救急車を呼ぶことも大事ですが、すぐに体を冷やし始めることが必要です。

4. 熱中症になったときは？

＜対処法＞

①涼しい環境への避難

⇒風通しの良い日陰や、クーラーが効いている部屋などに避難させましょう。

②脱衣と冷却

⇒衣服を脱いで、体から熱の放散を助けます。
⇒ベルトやネクタイ、下着は、緩めて風通しをよくしましょう。
⇒水のうや保冷剤などを利用し、首の両脇、脇の下、足の付け根の前面など太い血管が通る部分を冷やし、皮膚の直下をゆっくり流れている血液を冷やすことも有効です。

③水分と塩分の補給

⇒冷たい水を自分で飲んでもらいます。
⇒大量の発汗があった時は、汗で失われた塩分も適切に補える経口補水液やスポーツドリンクなどが最善です。また、食塩水(水10Lに1～2gの食塩)も有効です。

④医療機関への搬送

⇒自力で水分の摂取ができない時は、点滴で水分や塩分を補う必要があるため、緊急に医療機関に搬送することが最善先です。

5. 熱中症の疑いのある人を医療機関に搬送する際に、医療従事者に伝えること

熱中症は、症状により、急速に進行し重症化する場合があります。医療機関到着後、治療が迅速に開始されるよう、その場に居合わせた倒れた時の状況がわかる人が医療機関まで付き添い、発症までの経過や症状などを伝えるようにしましょう。

＜医療従事者に伝える内容(例)＞

- 倒れた場所の状況(具体的な場所、気温、湿度、風速など)
- 倒れた時の状況(服装、どんな活動をしていたか、など)
- 症状の経過(症状が開始された時から悪化していないか、具体的にどんな症状があるか、など)
- 対処の内容(水分や塩分の補給はできたか、その他応急処置の有無など)

6. 熱中症に関する情報

国や大阪府では、下記ホームページを通じて、熱中症に関する情報を発信しています。

- 大阪府ホームページ URL: <https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkazokuri/heatstroke/>
- 茨城県熱中症予防情報サイト URL: <http://www.webglenv.gsjp/>
- 総務省消防庁ホームページ URL: http://www.foma.go.jp/heiter/topics/field_s19_2.html

※本資料は、厚生労働省「熱中症重症化防止マニュアル」(高熱者のための熱中症対策)を基に、関係者・関係者作成「熱中症予防×コロナ感染防止で「新しい生活様式」を参考に、大阪府で作成しました。

暑さのがまん、あかん。

暑さから身を守る3つの習慣

- 涼む 暑さをしのぐ「クーラーの利用」
- 気取 暑さを知らせる「情報の活用」
- 備える 暑さにつよい「からだづくり」

「大阪府暑さ対策情報ポータルサイト」を開設

府民のみならずご活用いただけるよう、暑さを知らせる情報を提供するサービスや、暑さから身を守る取組み、行政の取組みなどの情報を発信しています。ぜひ、ご覧ください。

(<http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/jigyotoppage/assusataisaku.html>)



【暑さ対策に関するお問い合わせ】

大阪府 環境農林水産部 エネルギー政策課 温暖化対策グループ

〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16大阪府咲洲庁舎（さましまこスタワー）22階

電話番号：06-6210-9553 ファクシミリ番号：06-6210-9259



新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

① 通風、マスクをはずさない。

- ▶ 屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずします。
- ▶ マスクを適用しているときは、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩します。

② 冷却対策を徹底して体調を管理する。

- 冷却対策として、涼しい場所へ移動し、扇風機や冷房を利用し、涼しい服装を着用し、水分をこまめに摂取する。
- 日頃から塩分・糖分の多い飲み物を避け、水分をこまめに摂取する。
- 熱中症に気づいたら、涼しい場所へ移動し、水分をこまめに摂取する。

暑さをしのぐ「クーラーの利用」

- ▶ 暑さに対して自分の体感だけでなく、部屋の温度や湿度を確認してクーラーの設定温度を調節しましょう。
- ▶ 外出先では無理をせず、クーラーの効いた施設や木陰など涼しい場所での休息をとりましょう。

高齢者は特に注意が必要です

高齢者は暑さに対する感覚や体温を下げるための体の反応が弱くなっており、自覚がなくても熱中症になる危険がありますので、特に注意しましょう。

▶ 古いクーラー使っていますか。壊れるまで使うのはもったいない！



- ▶ 最新機種は、20年前のクーラーに比べ年間消費電力量が約4割*少なくなり、毎年の電気代を約1万円節約できます。

*（標準値）省エネ性能等級が1級（省エネ率20%以上）の機種と、省エネ性能等級が2級（省エネ率10%以上）の機種を比べた場合の値です。

暑さを知らせる「情報の活用」

- ▶ 他様な暑さを知くため「熱中症警戒アラート」や、「暑さ指数メール配信サービス」など、暑さの危険を予測及び実況で知らせてくれる無料* サービスがあります。「大阪府暑さ対策情報ポータルサイト」(裏面)を見て活用しましょう。

* 情報取得にかかるとる通信料は利用者の負担となります。

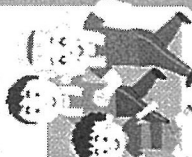
3Xメモ 暑さ指数(℃)と熱中症危険度の関係



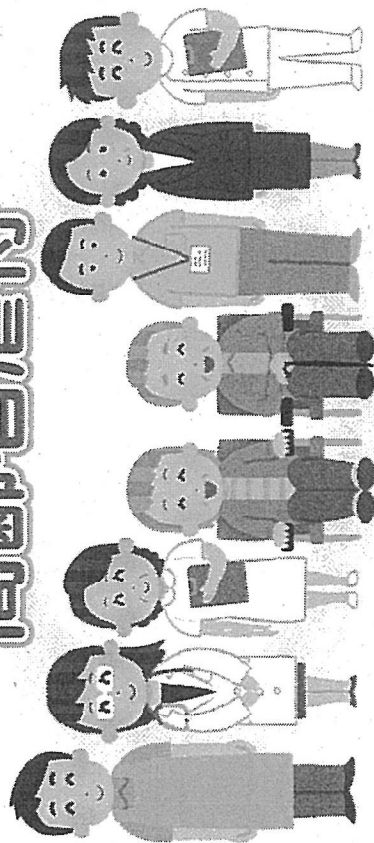
*「暑さ指数」は気温だけでなく、湿度なども考慮した熱中症予防のための数値です。

暑さにつよい「からだづくり」

- ▶ 水分や塩分の補給も大切にしましょう。
- ▶ 暑さに負けない体にするため、暑くなる前の時期から、ウォーキングなどの汗をかく運動を継続していきましょう。



介護の現場で働くあなたに知ってほしい 高齢者虐待



介護サービス従事者等による高齢者虐待について

高齢者虐待防止法（以下、「法」という。）では、高齢者を介護している養護者（家族など）による虐待だけでなく、福祉・介護サービス業務の従事者等（以下、「介護サービス従事者」という。）による虐待の防止についても規定しています。（法第三条）
虐待につながるような不適切なケアが生じないよう、介護サービス従事者一人ひとりが介護について正しい知識・技術を身につけるとともに、職場全体で高齢者虐待をなくす取り組みを進めましょう。

介護サービス従事者等とは

介護保険法や老人福祉法で規定されている施設や事業者の業務に従事している者を称します。

入所系	<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム 介護老人保健施設 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院 短期入所生活介護（ショートステイ） 短期入所介護（ショートステイ）
通所系	<ul style="list-style-type: none"> 認知症対応型通所介護（デイサービス） 通所介護（デイサービス） 認知症対応型通所介護（デイサービス） 通所リハビリテーション 小規模多機能型居宅介護 など
訪問系	<ul style="list-style-type: none"> 訪問介護（ホームヘルプサービス） 訪問看護 訪問入浴 訪問介護（ホームヘルプサービス） 訪問看護 訪問看護 訪問入浴 居宅介護支援指導 など

※有料老人ホームに該当するもの

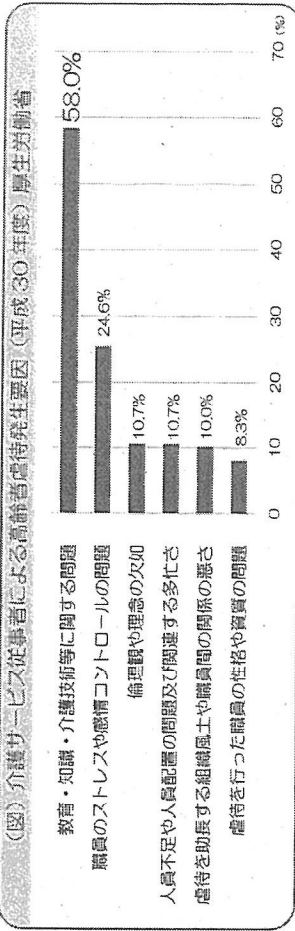
直接介護・看護に携わる職員はもちろん、上記の職場で働くすべての方（経営者・管理者・事務員・ケアマネジャーなど）が対象となります。

大阪府福祉部高齢介護室介護支援課

なぜ、高齢者虐待が起こるのか

高齢者虐待は、さまざまな発生要因があります。『平成30年度高齢者虐待防止法に基づく対応状況等に関する調査結果（全国）』(図)によると、発生要因は「教育・知識・介護技術等に関する問題」が最も多く、次いで「職員のスプレッドや感情コントロールの問題」が多くなっています。

高齢者虐待を防ぐためには、介護サービス従事者が介護に関する正しい知識・技術を身につけたり、「虐待」や「不適切なケア」がないかなどを職場全体で話し合っていくことが大切です。



高齢者虐待を知ろう

以下の行為は、高齢者虐待の具体例です。

身体的虐待

- 暴力行為（殴る・つねる・叩いてくる利用者や叩きかえす・介護を行う際に暴言を浴びせられる、カッターや叩く・ヘッドから落とす、身体を引きずって移動させるなど）
- 医療的に必要がない投薬によって動きを制限する
- 食事の量、利用者が拒否しているのに職員が都合で無理やり食べさせる
- 身体拘束（※詳しくは後述）

放棄・放置

- 必要な福祉や医療サービスを受けさせない（褥瘡や衰弱があるのに受診させないなど）
- 職員の都合でナースコールの電源を抜く、手の届かないところに置く、使用させない
- 他の職員が虐待行為をしていても知らないふりをする

心理的虐待

- 威嚇、侮辱的な発言や態度をとる（舌打ち・ため息・不快な声で応対するなど）
- 子ども扱いや人格を貶めるような扱いをする（名前に「ちゃん」付けをする・顔や手にマジックで落書きをするなど）
- 職員の都合を優先し、利用者の意思や状態を無視して介護をする（必要がないのにオムツを着用させるなど）
- 行事や集会に参加させない、無視する

性的虐待

- 必要なく身体に触る、キスをする、性行為をする
- 性的な話を強要する、聞かせる
- 排泄や着替えの際に下着姿のままにしておく
- 裸や下着姿を撮影する、その写真を他の職員に見せる

経済的虐待

- 利用者の合意なしに財産や金銭を使用する、制限する、処分する
- 金銭や物品を盗む、一時的に借用する
- 利用者から預かった金銭で職員のものを買う

